

# 社会科

## 1 社会科を学ぶ意義

社会科を学ぶことは、これから生きていく皆さんがよりよい社会を築いていくための基礎をつくることです。

歴史の学習では、人間の生き方のすばらしさとおろかさを学ぶことで、これからの教訓とすることができます。地理の学習では、自然の偉大さとそれを活用して生きる人間の知恵とこれからの自然と人間の関わり方を考えさせられます。公民の学習では、現代社会のしくみを学びながら、全ての人が人間らしく生きるための方法を考えます。

私たちは「社会」の中で生きています。社会とのよりよいつながり方を学び、考えていくことはとても大切なことです。

## 2 社会科の学習について

### 【1】授業において

どの教科でも授業に臨む姿勢は共通していると思いますが、大切だと思われることをいくつかあげてみます。

○集中して話を聞く、そして自分なりに考える。

授業中に先生の話、友だちの発表などを集中して聞くことが一番大切です。勝手なおしゃべりや別なことをしていれば頭に入らないのは当然です。先生が「教科書の10ページ開いてください」という指示を出した後に「何ページですか」という質問はあってはならないことです。

そして、黙って聞いているだけでも頭には何も残りません。先生の説明を聞いて「なるほど」と感心したり、友だちの発表を聞いて「自分ならこう考える」など、人の話を聞きながら自分の頭も働かせることがポイントです。

○切り替えを上手に行い、積極的な姿勢で授業に臨む。

授業では、話を聞く、グループで話し合う、プリントに記入する、調べるなど様々な活動が取り入れられます。限られた時間内での活動になりますので、切り替えを上手に行い積極的に活動に取り組むことが大事です。

○自分の考えや意見に自信をもつ

知識は覚えることができますが定着させるのはなかなか難しいです。定着させるための一つの方法として覚えた知識を活用することです。

社会科では、「このことに対してあなたの考えを述べなさい。」とか「この問題をあなたはどのように思うか答えなさい。」などの課題が出されます。その時、それまで学んだ知識を活用し、自分なりの説明ができたり、考えを文章に表現することが知識の定着につながります。積極的に自分の考えや意見を表現しましょう。

○忘れることに負けない

せっかく覚えた知識も時間がたつと忘れてしまうのは仕方ないことです。でも、苦勞して覚えたものを簡単に忘れてしまうことはとても悔しく、また覚えなおすことはとても面倒なことです。し

かし、忘れることに負けないくらいの「覚えてやるぞ」という強い気持ちが必要です。忘れても繰り返し覚える根気強さが求められます。その地道な繰り返しに、諦めないで取り組んでほしいと思います。

## 【2】授業において

**「覚えたことは忘れるもの」** このことを常に頭に入れて家庭学習に取り組んでください。

○言葉の意味を考えながら、覚える

社会科には覚えなくてはいけない言葉や人物名がたくさん出てきます。覚え方は人それぞれですが、基本的には「書いて覚える」ことが大切です。言葉の「音」だけを覚えても意味が分からず、忘れる速度も速まります。

それよりも、言葉の意味をしっかりと覚えるために、何回も言葉や意味を書くことがポイントです。時間が掛り、地味な作業ですが、繰り返すしか方法はないと思います。

覚えたかどうかの確認方法としては、何も見ないで、自分なりのその言葉の意味を説明できる文章が書けるかということです。

○時間ではなく内容で勝負する

ダラダラ3時間掛けて勉強しても、覚えられる量は限りがあると思います。そうであれば短い時間で確実に覚えたほうが後々効果は上がるのではないかと思います。集中しない3時間で多くの人物を覚えようとするよりも、集中した10分で一人の人物を完璧にした方が効率が良いと思います。

○決まった時間に、決まった場所で

家庭学習の習慣がない人は、まずここから始めてみましょう。学校から帰ったら、まず自分部屋に行き机に向かう。これが決まった時間に決まった場所にです。そこから10分、20分、30分と自分が集中できる時間を設定していくと、その時間に勉強に取り組まないと何となく変な気分になります。つまり、家庭学習へも取り組みを「習慣化」させるということに取り組んでください。

## 3 評価について

中学校の社会科は、以下の4観点について、授業の様子（授業中の態度や取組、忘れ物などを含む）や提出物の状況、小テストや定期考査の結果などから総合的に判断します。

○社会的事象への関心・意欲・態度

社会的事象に対して関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるかどうか。

○社会的な思考・判断・表現

課題に対して的確に考察し、公正に判断し、適切に表現できるかどうか。

○資料活用の技能

資料を効果的に活用できるかどうか。

○社会的事象についての知識・理解

社会的事象を理解し、その知識を身に付けているかどうか。

主に各種テスト（小テスト、単元テスト、期末テストなど）で判断しますが、授業中の発言・発表、取組の様子なども含めて総合的に判断します。